

あがの市議会だより

第61号

令和6年
9月、12月
定例会合併号
令和7年1月17日 発行

主な内容

市議会の構成	P2-3
10月・11月・12月臨時会、12月定例会	P4-9
議決結果・市政を問う一般質問(14人)ほか	
8月臨時会、9月定例会	P10-15
議決結果・市政を問う一般質問(9人)ほか	
議会タブレット導入ほか	P16



本年もよろしくお願ひ申し上げます

10月15日・11月11日に
臨時会が開かれました

12月定例会が
11月29日～12月6日の
会期で開かれました

11月29日 本会議

- 一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目(4人が質問)

12月2日 本会議

- 一般質問2日目(6人が質問)

12月3日 本会議

- 一般質問3日目(4人が質問)

12月4日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案等を審査

12月6日 本会議

- 各常任委員会の審査報告の後、討論を経て採決
- ※議決結果は5ページ

12月19日に
臨時会が開かれました

明けましておめでとうございませう。市民の皆さまにおかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も、11月11日の臨時会において、議員各位のご推挙により、議長・副議長に就任させていただきました。議会を代表する者として、その責任の重さを実感するとともに、円滑な議会の運営に向けて日々努力しているところであります。

昨年10月に任期満了に伴う改選が行われ、11月から市民の皆さまの負託を受けた16人の議員による新たな体制の下で議会がスタートしました。議員一同、市民の皆さまのご期待に応えられるよう、決意を新たに、市の発展に全力で取り組んでまいります。

議会と市長の関係については、議会制民主主義に基づき、二元代表制の一翼を担う議会として、適度の緊張感とバランスを保ちながら、是々非々の立場で進めていく必要があります。市議会の役割は、市民から負託を受けた代表として、常に市民の皆さまの側に立ち、市民生活の向上のために使命と責任を果たさなければなりません。市民の皆さまのご意見やご要望に対し、謙虚に耳を傾けながら、開かれた議会、信頼される議会の構築を目指し、活発な議会の運営や議会改革の推進に向け、先頭に立って、全力で取り組んでまいります。引き続き市議会への温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。



議長
大滝 勝



副議長
荒澤 浩和

正副議長就任あいさつ

市議会の構成

令和6年11月から新しい体制で活動しています

議長 大滝 勝

副議長 荒澤 浩和

16人の議員を会派ごとに紹介します

※()は所属の常任委員会
総文：総務文教常任委員会
産厚：産業厚生常任委員会

会派……政党や同じような考え方・意見を持つ議員は、自分たちの考えを市政に効果的に反映させるため、集まって活動しています。このグループを「会派」と呼んでいます。

日本共産党



みやわき まさお
宮脇 雅夫(総文)



まつざき よしつぐ
松崎 良繼(産厚)



しみず ひろゆき
清水 博英(総文)

公明党



むらかみ きよひこ
村上 清彦(産厚)

会派の所属なし



えんどう ともこ
遠藤 智子(産厚)



せいの えいいち
清野 栄一(総文)



あまの いちろう
天野 市榮(産厚)

新風あがの



かざま てるあき
風間 輝榮(産厚)



いちかわ ひでとし
市川 英敏(総文)



あまの みさお
天野 美三男(総文)



おおたか まさる
大滝 勝(総文)



えんどう たかし
遠藤 孝(産厚)



あらかわ ひろかず
荒澤 浩和(総文)



あべ じゅんぞう
阿部 順三(産厚)



ひだの かつゆき
披田野 勝幸(総文)



すがはら みちあき
菅原 道明(産厚)

各種協議会等の就任状況

阿賀野市監査委員	風間輝榮
五泉地域衛生施設組合議会議員	宮脇雅夫 村上清彦 荒澤浩和 阿部順三 披田野勝幸
新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員	遠藤智子
阿賀野市防災会議委員	大滝 勝
阿賀野市国民保護協議会委員	大滝 勝
阿賀野市家畜ふん尿処理施設等運営委員会委員	遠藤 孝
福島潟周辺整備促進協議会委員	大滝 勝 遠藤 孝 天野美三男 清野栄一 披田野勝幸
阿賀野市下水道審議会委員	村上清彦 阿部順三
阿賀野市水道事業審議会委員	市川英敏 清野栄一
阿賀野市民生委員推薦会委員	菅原道明
阿賀野市都市計画審議会委員	天野市榮 清水博英
国道 460 号整備促進期成同盟会委員	大滝 勝
一般国道 290 号(新発田～五泉間)整備促進期成同盟会委員	遠藤 孝
安田橋下流橋(仮称五泉大橋)架橋促進期成同盟会委員	大滝 勝 遠藤 孝
一般国道 290 号「馬下橋」架け替え促進期成同盟会委員	大滝 勝 遠藤 孝
大通川河川改修事業促進期成同盟会委員	大滝 勝 遠藤 孝
阿賀野市国民健康保険運営協議会委員	遠藤智子 宮脇雅夫 松崎良繼 披田野勝幸
阿賀野市あがの市民病院運営協議会委員	阿部順三 清水博英 菅原道明

委員会の 紹介

委員会は、常任委員会や議会運営委員会、特別委員会があります。
常任委員会は2つあり、市の仕事を2つに分け、関係する議案や請願等を審査します。
令和6年9月定例会で議会委員会条例を一部改正し、令和6年11月からは常任委員会を3つから2つに再編し、議員がどちらかの常任委員会に所属することになりました。
議会運営委員会は、会議の円滑な運営方法について話し合いを行います。
特別委員会は、必要に応じて設置されます。
※ ◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会



披田野勝幸 天野美三男 市川英敏
遠藤智子 ◎村上清彦 ○菅原道明 宮脇雅夫

総務文教常任委員会

総務部所管(市政全般の企画・調整、財務、市税、防災等)や民生部所管(生涯学習)、教育、消防等に関することを審査します。



清野栄一 大滝 勝 荒澤浩和 清水博英
市川英敏 ◎天野美三男 ○披田野勝幸 宮脇雅夫

産業厚生常任委員会

産業建設部所管(商工業、農業、土木、観光、上下水道等)や民生部所管(福祉、介護、子ども、保健、医療、環境等)に関することを審査します。



村上清彦 天野市榮 松崎良繼 菅原道明
遠藤智子 ◎遠藤 孝 ○阿部順三 風間輝榮

広報広聴委員会(特別委員会)

議会だよりなど議会活動の情報発信や議会報告会など市民参加、市民との連携を図るための企画・立案に関することを担当します。



天野市榮 遠藤 孝 荒澤浩和 阿部順三
清野栄一 ◎松崎良繼 ○清水博英 風間輝榮

議会改革推進委員会(特別委員会)

議会基本条例の進行管理や見直し、議会改革に関することを担当します。

◎宮脇雅夫 ○清野栄一

委員は、議長、正副委員長を除く13人

議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。
12月定例会の議案の中からお知らせします。

12月定例会

一般会計補正予算(第5号)

○ごみ処理施設整備基金造成費 2億円

環境センターの廃止を見据えた方向性の検討に当たり、最低限必要と見込まれる費用を確保していくため新たに計上。

○和牛繁殖農家緊急支援事業費 385万円

肉用子牛価格が低迷している実情を踏まえ、市内の和牛繁殖農家を対象として、事業継続に必要な費用を支援するため計上。

○小中学校長寿命化等改修事業費 2億5,751万円

京ヶ瀬中学校グラウンドの整備に伴う設計業務委託料を計上。

○京ヶ瀬体育館維持管理事業費 1億5,000万円

京ヶ瀬中学校グラウンドの整備に伴い、一体整備とする京ヶ瀬体育館解体工事の設計委託料を計上。

○市営バス運行事業費 26万7千円

AIオンデマンドバスの運行実績見込みにより増額計上。

○児童扶養手当支給事業費 869万5千円

児童扶養手当法の改正に伴い増額計上。

○道路維持管理事業費 431万9千円

地下埋設物の老朽化による損傷が原因で舗装の陥没が例年より多く発生し、当初予算編成時の見積もりを上回る実績見込みのため増額計上。併せて乗用草刈機の経年劣化に伴う入れ替えのための費用を計上。

○観光事務費 94万7千円

新たな体制の観光協会を設立するための検討委員会委員謝礼や市内の桜の知名度向上のためのマップ作製費用を計上。



阿賀野市放置自動車の発生防止及び適正処理に関する条例の制定について

公共施設等における自動車の放置防止に関する施策の基本方針を明らかにするとともに、放置自動車に対する措置を講ずるため、条例を制定するもの。

五泉地域衛生施設組合規約の変更について

五泉地域衛生施設組合の新中間処理施設の供用開始に伴い、施設の名称を変更するとともに、同組合の事務所機能を新中間処理施設の管理棟に移動するため、同組合の規約を変更するもの。

公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市神山児童クラブ)

阿賀野市神山児童クラブについて、令和7年4月1日から令和10年3月31日まで、社会福祉法人みのり会を指定管理者に指定するもの。

意見書を提出しました

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書が、村上議会運営委員会委員長から提出され、全会一致で可決しました。この意見書は、国会や政府においても、拉致被害者・特定失踪者家族の痛切な思いを共有し、北朝鮮による拉致被害者・特定失踪者全員の早期帰国、真相究明に向け、今後とも拉致問題を「最優先、最重要課題」を位置付け、国を挙げて全力で取り組むことを強く要望する内容です。12月9日、阿賀野市議会として、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、拉致問題担当大臣(内閣官房長官)に提出しました。

10月臨時会、11月臨時会、12月定例会、12月臨時会の 議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

10月15日臨時会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
専決	令和6年度阿賀野市一般会計補正予算(第4号)	省略	承認	その他	財産の取得について(追認)	省略	可決
条例	阿賀野市職員等の給与の特例に関する条例の一部改正について	省略	可決				

11月11日臨時会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
人事	阿賀野市監査委員の選任について(風間 輝榮 氏)	省略	同意	発議	議会改革推進委員会(特別委員会)の設置について	—	可決
発議	広報広聴委員会(特別委員会)の設置について	—	可決				

12月定例会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(石川 博英 氏)	省略	適任	条例	阿賀野市集落排水事業償還基金条例の廃止について	産厚	可決
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(小林 留美子 氏)	省略	適任		阿賀野市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	産厚	可決
補正予算	令和6年度阿賀野市一般会計補正予算(第5号)	総文 産厚	可決		阿賀野市農業集落排水事業分担金徴収条例の廃止について	産厚	可決
	令和6年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	産厚	可決		阿賀野市集落排水処理施設条例の廃止について	産厚	可決
	令和6年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	産厚	可決	その他	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	総文	可決
	令和6年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	産厚	可決		五泉地域衛生施設組合規約の変更について	産厚	可決
	令和6年度阿賀野市水道事業会計補正予算(第1号)	産厚	可決		公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市神山児童クラブ)	産厚	可決
	令和6年度阿賀野市下水道事業会計補正予算(第1号)	産厚	可決	字の変更について	総文	可決	
	令和6年度阿賀野市病院事業会計補正予算(第1号)	産厚	可決	請願	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	総文	採択
阿賀野市放置自動車の発生防止及び適正処理に関する条例の制定について	産厚	可決	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の採択を求める請願		総文	採択	
条例	阿賀野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	総文	可決	発議	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	—	可決
	阿賀野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総文	可決		30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	—	可決
	阿賀野市行政組織条例の一部改正について	産厚	可決		「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の提出について	—	可決
	阿賀野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	産厚	可決				

12月19日臨時会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
補正予算	令和6年度阿賀野市一般会計補正予算(第6号)	省略	可決	条例	阿賀野市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正について	省略	可決
	令和6年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	省略	可決		阿賀野市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	省略	可決
	令和6年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	省略	可決		阿賀野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	省略	可決
	令和6年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	省略	可決	その他	和解について	省略	可決
	令和6年度阿賀野市水道事業会計補正予算(第2号)	省略	可決				
	令和6年度阿賀野市下水道事業会計補正予算(第2号)	省略	可決				
	令和6年度阿賀野市病院事業会計補正予算(第2号)	省略	可決				
条例	阿賀野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	省略	可決				

※省略：本会議で即決したもの ー：委員会に付託しないもの
 総文：総務文教常任委員会 産厚：産業厚生常任委員会
 ◆各委員会における審査結果は、市ホームページで見ることができます。

意見が分かれた議案等

12月19日臨時会

○：賛成 ×：反対 議長(大滝勝)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党		日本共産党			新風あがの						会派の所属なし			
			村上 清彦	宮脇 雅夫	松崎 良繼	清水 博英	風間 輝榮	市川 英敏	天野美二男	遠藤 孝	荒澤 浩和	阿部 順三	披田野勝幸	菅原 道明	遠藤 智子	清野 栄一	天野 市榮
阿賀野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	省略	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
討 論 (要旨)	反対意見	市内の状況を見ると、物価高騰に見合った市民の収入は増えていない人が大半であり、生活は苦しさを増している。そのような状況の中で議員報酬等の改定は いかなるものかと思う。															



新風あがの
阿部 順三



来年度予算編成について

質問 市長就任以降、課題対応を含めて着手した事業、また、来年度予算編成で重点的に取り組む事項や組織再編成の考え方を伺う。

答弁 人口減少、さまざまな分野での生産性確保、不稼働資産の取り扱い、災害対応力強化などの課題解決のため、市の組織強化に必要な人事異動を行い、職員の先進自治体等への視察やさまざまな研修への受講を推進している。また、公民を問わず関係機関との関係づくりに努めている。来年度予算については、人口減少対策、人材の育成

産業の振興を重点施策として編成し、限られた財源を効率的に配分し、健全な財政運営に配慮し取り組んでいく。

総選挙、市議会議員選挙における課題と対応について

質問 10月に実施した総選挙と市議会議員選挙の投票行動をどう見たか。人員体制や投票率向上について課題と対応を伺う。

答弁 小選挙区の投票率は全国より高く、市議会議員選挙の投票率は4月の市長選より高かった。同時選挙で行列が発生した

市内農業の品目別状況と対策について

時間帯もあつたが、レイアウトなどを考慮し、投票の呼びかけなどの啓発を行いたい。

質問 不順な天候や原料情勢、販売流通環境の変化により、生産農家の経営は厳しい状況にある。市内の現況と対策について伺う。



答弁 水稻の作況指数は、昨年より上昇したがやや不良となった。畜産は、乳価のアップや飼料価格の落ち着きは出てきたものの厳しい状況が続いている。和牛は、飼料価格や燃料費などの高騰に加え、牛肉需要の低迷で市場価格は低水準となっている。農業の基本は土作りであることから、堆肥を使用した土作りに継続して取り組み、魅力ある儲かる農業を目指す。



日本共産党
宮脇 雅夫



あがの市民病院の医師確保

質問 本市の救急搬送時間は他市平均より長く、市民の命と健康を守る大事な任務が果たせなくなっていると危惧されるが、要因と対策について。

答弁 市外の医療機関への搬送率の高さが要因。当面の対策としては、救急救命士の養成、デジタル技術とドクターヘリの積極的な活用で搬送時間の短縮を図っていききたい。

答弁 救急告示には医師確保と県厚生連の体制が欠かせないことから、現時点で時期の明言はできない。今後も県厚生連と協議を継続し、新潟大学医学部との関係継続や地域枠・医師養成就学資金貸与制度の参加により、医師確保に努める。

質問 休止している病床40床の急性期病床への早期活用が必要である。「強化プラン」では、「入院を診れる医師数」目標を現行の11人から令和9年度に15人としているが、これを実現すれば可能か。

答弁 医師が15人に増えることで、休床している40床も再開できると見込んでいる。

答弁 人口減少で患者数は減少傾向にあるが、高齢化率は下がらない見込みから、現行と同等の目標とした。今後も訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなどの在宅医療の提供機能を強化していく。

その他の質問
・裏金問題と企業・団体献金の全面禁止の見解
・宝珠温泉「あかまつ荘」再開と安田体育館について



無党派
清野 栄一



令和7年度当初予算について

質問 市民生活と密接な関係にある来年度当初予算の編成方針と主な新規事業の予定および選挙公約への取り組みについて伺う。

答弁 予算編成方針は「人口減少対策」「人材の育成」「産業の育成」を重点施策とする。主な新規事業と選挙公約への取り組みは検討中であり、2月に説明したい。

質問 人口減少対策を重点としているが、9月現在の人口を承知しているか。

答弁 4万人弱と思う。

新型コロナウイルス接種による副反応被害について

質問 全国的に副反応による健康被害が数多く報告されているが、本市の総接種回数と副反応疑い件数および予防接種健康被害救済制度の申請・認定状況について。

答弁 接種回数は延べ15万9,571人、副反応疑い件数は国に3件、健康被害救済制度申請は1件あつたが、否認されている。
質問 市民からはワクチン接種後の長期的な倦怠感、難聴、帯状

疱疹、不整脈など、多くの体調不良を聞いているが、健康被害の相談はあるのか。件数は。
答弁 件数は把握することができない。

質問 10月29日の厚生労働大臣の記者会見では接種後死亡2,262人、重篤者9,325人の報告があつたと公表された。また、10月から接種予定のレプリコンワクチンは、開発国のアメリカは未承認、治験をしたベトナムでも未承認となつている。注意喚起すべき。

答弁 承認は国が決めたこと。接種については個人の判断で対処していただければありがたい。

◆その他の質問◆ 農福連携について



日本共産党
松崎 良繼



紙の保険証新規発行停止について

質問 政府は多くの国民や医療関係者の危惧の声を押し切つてマイナ保険証への一本化を強行しようとしている。総選挙で示された民意を踏まえて、政府は現行保険証を残す決断をすべきと考えるが、市長の見解は。

答弁 メリットの一方、多くの国民や医療機関が不安に感じていることは使用率からも明白で、十分な説明を政府に求めたい。

質問 マイナ保険証がなくても保険診療を受けられることを、市民に目立つ形で知らせるべきだ。

質問 封建的家制度の名残である夫婦同姓を義務付けている国は日本だけとなっている。世論も6割から7割が選択的夫婦別姓制度導入に賛成し、経団連も導入を求める提言を出した。市長の見解を伺う。

答弁 国会の議論を見守っていききたい。

質問 加藤市長自身の見解を伺う。

答弁 国県の事業以外に支援が必要かどうか、農業者の声を聞きながら検討していく。

質問 選択制で個人の意思で選べるので、それでいいのではないかとと思う。

質問 気候の影響を大きく受ける農業生産者には安心して再生産に取り組める価格保証と所得補償で支え、消費者には生活に負担をかけない価格で食料を提供する。その差額は公費で埋めることが不可欠と言われるが市長の見解を伺う。

答弁 農業者への所得補償や消費者への安定供給については、国の責務で制度構築すべきと考えている。

質問 農機具更新への国の補助制度の対象が限られている。市独自の補助制度創設を。
答弁 国県の事業以外に支援が必要かどうか、農業者の声を聞きながら検討していく。



日本共産党 清水 博英

柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票条例制定署名運動について

質問 柏崎刈羽原発再稼働について、新潟日報の県民世論調査(10月26日付)では、再稼働反対が46.5%、賛成が36.2%。「信を問う方法」については、「県民投票」が57.3%、「知事選」が12.8%、「県議会への提案」が6.5%、「信を問う必要はない」が7.2%で、県民の意思は命や暮らしに関わる重要な問題として、県民投票を実施して「原発の再稼働」に対して是非を問う声が多数。県民投票条例制定について、市長の見解を伺う。

答弁 住民投票を行わずとも、住民の直接選挙で選ばれている県知事と県議会議員が議論を交わす県議会において、判断することが良いと思う。

学校給食の無償化実施について

質問 子育て世帯にとっては、学校教育費(教材費・入学準備金・修学旅行費・部活動費など)や給食費負担に加え、物価高で家計が一層大変になっている。今年度から実施されている給食費3分の1補助は、子育て世帯に歓迎されている。少子化対策として子育て支援政策の拡充が急がれる中、保護者負担軽減のためにも「財政調整基金」や「ふるさと阿賀野市応援基金」なども活用して、来年度予算で率先して学校給食費無償化を実施するべき。



答弁 現在、学校給食において地場産物の活用として有機米の導入を進めている。無償化を継続して実施するためには新たな財源の確保が必要。県内の動向も踏まえ、給食費負担軽減と産業支援の複合的な実施を検討し支援策を検討していく。

◆その他の質問◆ 不登校対策について

に向けてPRに努める。



新風あがの 披田野勝幸

降雪時の高齢者世帯等への支援体制

質問 今冬は大雪が見込まれている。降雪時の高齢者世帯等への市独自の支援制度「雪降ろし費用助成」「玄関先除雪支援事業」があるが、この制度が十分



答弁 民生委員対応は申請方法を含め検討する。民生委員がいな自治会は担当課で対応。申請者は254世帯で認定世帯は212世帯、対応業者は5社・3組合である。
質問 「玄関先除雪」普及のため、共助精神の自治会紹介をしてはどうか伺う。
答弁 自治会長会議でも周知した。自治会の支え合い活動推進

オンデマンドバスの運行状況

質問 本年10月から本格運行したオンデマンドバスは、市民から色々な苦情を聞くが、どのように改善策を検討したか伺う。

答弁 運行面で利用者に迷惑をかけたが、運行事業者・システム会社と課題解消に向けた対応をした。今はほとんどない。

質問 まだ課題はあるようだが、早急な改善策を考えているか。近隣の病院への要望があるが、路線変更の考えは。申し込みは電話かスマホか伺う。
答弁 改善策を講じていく。来年4路線を増やす。この際近隣市も検討する。

11月25日時点の登録者数は、電話が239人、ウェブが214人。



新風あがの 市川 英敏

有機農業の推進について

質問 農林水産省は、生産者の減少や高齢化、温暖化による自然災害の大規模化などの課題を解決するために、温室効果ガス削減や環境保全の強化など、持続可能な食料システムの構築を目指して戦略的な取り組みの方向性を示し、令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」を定めた。

有機農業については、2050年までに耕地面積に占める割合を25%に拡大することを目指す。

すという取り組み目標を定めた。
令和6年においては、本市を含め129市町村が取り組みを始めた。地元で生産される堆肥を活用して、有機米の栽培に取り組んでいるが、更に有機農業を推進している現状と来年度に向けての取り組み方針を伺う。

答弁 農林水産省の交付金を活用し、市主導で生産から消費まで一貫した産地づくりを目指す「オーガニックビレッジ事業」に取り組んでいる。消費面では、学校給食への有機米の試験供給を令和7年1月に実施する計画であり、関係機関と連携し、当初の予定を拡大して市内全小中学校で1か月間行う予定である。昨年度から有機米の産地化に



新風あがの 天野美三男

空き家問題について

質問 日本では、年々増え続ける空き家が社会問題となっており、その背景には、少子高齢化や人口減少、相続、老朽化などさまざまな理由が絡み合っている。空き家問題が引き起こす社会的・経済的影響を踏まえ、現状の課題、個人ができる対策について伺う。

①自治会を通じて空き家の実態調査が行われたが、最近の空き家の状況・実態は

②問題となっている「放置空き家」に対する対策
③空き家・空き地バンクの問い合わせや成約状況

④自治会からの空き家に対する環境整備などの要望対策
答弁 今年の3月末時点で空き家は617件、1年間で30件増加している。管理不全の空き家は516件あり、1年間で22件増加している。管理されず周辺に影響を与えているような空き家は速やかな対応・改善を指導している。市では「空き家の手引き」を作成しているの、参考にしてもらいたい。

公の施設等の活用について

質問 公の施設は、普通地方公共団体が住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設だが、人口減による学校の統合や老朽化等によって閉鎖している施設、指定管理者が継続できずに休止している施設等が全国的にも多くなっている。

答弁 公共施設等総合管理計画に掲げる施設保有量の適正化に向け、企業等への貸付、譲渡、売却に取り組みしていく。



向けて取り組みしており、生産者数は23人、作付面積は24ヘクタールとなっている。
来年度は、今年度の実証結果により効果が確認できた省力化に資する機械の導入を検討しており、引き続き有機米の生産拡大に取り組み。学校給食をはじめとした子育て支援、新規就農者の移住・定住対策、環境に配慮したまちづくりなど、阿賀野市のブランドづくりにつなげることが重要と考えている。





無党派 遠藤 智子

「軟骨伝導イヤホン」の福祉窓口導入について

質問 市役所の窓口は、市民や職員の声など、さまざまな音にあふれている。お互いの声が届きづらい状況でも円滑に会話ができるよう、福祉窓口で軟骨伝導イヤホンを設置する自治体が見られる。高齢社会が進む中、市役所を訪れる人が円滑に会話できるよう、本市での検討状況を伺う。



公明党 村上 清彦

観光振興について

質問 近年では地域を豊かにし、持続可能な観光産業を実現するため、稼ぐということに着目した戦略的な仕組みづくりが求められている。

観光庁は、インバウンドの本格的な回復を見据え、地方への誘客を促進するため「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」を打ち出し、11か所のモデル観光地を昨年選定。この9月には「越後山脈と交流の海・日本海がもたらした、今も息づく日本の原風景」をコ

带状疱疹予防接種費用助成について

質問 6月議会の答弁では、優先度や予算など総合的に判断し、带状疱疹を含めたワクチン接種助成の検討を進めたいとのことだった。加齢と共に発症リスクが高まる带状疱疹の予防接種費用は高額であり、国の公費補助による定期接種化までの間、本市独自の支援実施について見解を伺う。

であるなど、窓口でも利用しやすいことが挙げられている。本市では、会話が聴き取りにくい人の場合、表情を確認し、ゆっくり会話し、状況により筆談などで対応している。軟骨伝導イヤホンの設置は、既に設置している自治体に聞き取りを行い、効果を確認の上、設置の検討をしたい。

6月定例会終了後の6月20日、国において带状疱疹ワクチンの公費補助による定期接種化が決定された。带状疱疹は、加齢等を含めた自己免疫力の低下によって発症する疾病で、他人に感染して発症するものではないことから、定期接種化の実現までの間、市民の皆さまには免疫力を下げないように普段の健康づくりを心掛け、带状疱疹を発症した際は早めに治療を受けていただくよう啓発に努めたい。



質問 県においては、モデル観光地に選ばれたことを弾みとして、1人当たりの消費額を上げ、地域に経済効果をもたらすインバウンド誘客を進めていく計画であり、現在は、本市を含む県内および会津若松エリアの宿泊事業者等に、インバウンドの受入状況調査を実施しているところである。選定された佐渡・新

答弁 県においては、モデル観光地に選ばれたことを弾みとして、1人当たりの消費額を上げ、地域に経済効果をもたらすインバウンド誘客を進めていく計画であり、現在は、本市を含む県内および会津若松エリアの宿泊事業者等に、インバウンドの受入状況調査を実施しているところである。選定された佐渡・新

潟エリアは新潟県全体であることから、本市においてもインバウンド誘客に取り組む必要があると考えており、県の取り組みに同調し、近隣市町村、事業者、市観光協会等と連携を図り、市内への誘客・消費を促進するため、新たな観光コンテンツの構築、地域の魅力あるコンテンツを一貫したストーリーの下で有機的につなぎ合わせる取り組みなどを検討していく。



新風あがの 風間 輝榮

新型コロナウイルスワクチン接種状況について

質問 個人負担3,800円になって接種状況はどうなっているのか。

答弁 10月の接種者数は256人。11月以降、インフルエンザ予防接種後に新型コロナウイルスの接種者が増えていくと考えている。

質問 新型コロナウイルスとの因果関係の有無にかかわらず、後遺症に悩む相談は寄せられているのか。

答弁 今年度、後遺症の相談はなかったが、かかりつけ医や近隣の医療機関に相談していただ



新風あがの 菅原 道明

阿賀野市のDX推進の進捗状況について

質問 これまでの成果や課題と、今後の進展について。

答弁 庁内外のDXを推進するため、令和3年9月に阿賀野市DX推進計画を策定し、推進してきた。代表的なものとして、証明書等の「コンビ二交付サービス」の導入など。これまでの課題としては、庁内全体におけるデジタル分野への苦手意識や、日々進歩するデジタル技術や活用ノウハウ等に係る知識の不足など。庁内全体のマインド醸成を起点とした取り組み、推進体制の強化が必要不可欠と考

える。今後の展開としては、庁内のペーパーレス化、職員の職務環境の改善、電子決裁と電子請求機能を有した財務会計システムへの更新や電子決裁機能を有した文書管理システムの導入とともに、デジタル人材育成計画を策定し、庁内におけるキーマンの育成を図り、更なるDX推進に努める。

くよう周知している。

教育現場における保護者対応について

質問 保護者からの要望・苦情・理不尽なクレームは年間どのくらいあるのか。

答弁 11月中旬までに、市内11校合計で苦情は55件、理不尽なクレームは12件。

質問 教職員の負担軽減のための専用窓口設置は考えているのか。

答弁 教育委員会が窓口となり、回答指導や協同対応で支援している。現状の体制を維持していく。

空き家「自治会応援資金」の設置について

質問 協力していただける自治会に、必要な経費を支援する考

こととして、その方法を検討している。今後も引き続き、市民の皆さまへは生活や安全・安心に関わるような情報を中心に、市外へは観光や移住定住、イベント等に関する情報発信に努める。

えはないのか。

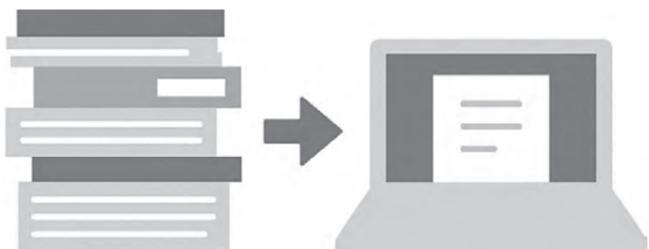
答弁 現段階では経費負担を含めた支援制度の構築に至っていない。検討を進めていく。



農振除外について

質問 大型店の進出により、残された農地の農振除外をして、民間企業が進出しやすい環境を整える考えはあるのか。

答弁 県の同意を得る必要があるため、協議期間が相当程度必要である。





新風あがの
遠藤 孝

令和7年内水原バイパス 全線開通について

質問 全線開通に伴う市の変化や取り組みについて伺う。

答弁 市民生活の分野では、新潟市までの時間が短縮され、居住地としての利便性向上による人口増や、搬送時間短縮が期待できる。観光分野では、道の駅あがのを拠点とし、人を呼び込み、市内周遊観光を向上させる。産業分野では、東部産業団



無党派
天野 市榮

前市政からの引継 事項への対応は

質問 市長の任期中に優先的に取り組みたいものは何か。

答弁 特にない。
質問 あがの市民病院を運営している県厚生連に提供を求めている政策的医療4項目中、2次救急医療と小児・産科医療体制の確保が実行されていないと引継書には記述されているが、今後の対応は。

答弁 2次救急医療(救急告示復活)については、引き続き県厚生連と協議を重ねていく。
質問 高齢福祉課の「処分未了事項」と市民生活課の「将来企画

地から新潟市や新潟空港、新潟港へのアクセスが改善され、地域産業の発展と物流面での利便性向上が見込まれる。農業分野では、道の駅あがのへの来場者の増加が見込まれるため、LINE登録者に売れている農作物を配信することで、農産物直売所が農家所得の向上のための重要な施設になると考えられる。

また、有機農産物の販売ブースを設ける計画もあり、農業者支援を強化していく。
水原バイパスの全線開通により、さまざまな分野に効果が波及するよう、開通に向けて取り組みを進める。

宝珠温泉保養センター あかまつ荘について

質問 休館してから年々施設の老朽化が進むと思うが、市としての今後の対応について伺う。

すべき事項」として挙げている事項については、件名や内容の全てが不開示(墨塗)のり并当状態になっていたが、それぞれどのような理由で不開示としたのか。

答弁 いずれも市情報公開条例第11条第3号(公開しないことができる情報)に該当し、開示すると当該事務事業に著しい支障が生ずるため。

選挙公約の新年度 予算への反映は

質問 新年度予算編成のスケジュールは。

答弁 1月に予算査定、2月に予算説明会を実施。

質問 選挙公約としての具体的な政策とは何か。

答弁 政策チラシ「加藤ひろゆきの『約束』」に記述されている。選挙公約として政策チ

答弁 休館してから空調設備、温泉のポンプやボイラー設備等の機器を稼働させていないため、設備機器の老朽化は進んでいるものと想定している。今後は、第三者検討会から提出された提言書の内容を尊重し、運営希望者を募集しながら進めていきたい。

鳥獣問題について

質問 市としての役割と対策について伺う。

答弁 有害鳥獣の目撃状況は昨年より増えているので、農作物等への被害防止のため、被害防止計画を作成し、これに基づく被害防止策を行う。また、鳥獣被害対策実施隊による捕獲を行い、有害鳥獣の個体数の減少に努めていく。

シに掲載した「ひとり親家族への支援拡充」「高齢者予防接種事業の強化」「熱中症対策エアコン購入費助成事業の拡充」などの予算化に向けた決意は。

答弁 総合計画や予算編成方針を踏まえ総合的に判断する。

質問 市長選投票日前日(4月20日)の地元紙に掲載された「小中学校給食費の段階的な無償化」とは、前市長が予算措置した現在の3分の1補助を拡充するという意味か。

答弁 「保護者の給食費負担軽減」という意味。6月定例会での清野議員の質問に対する答弁を見ていただきたい。



ようこそ阿賀野市へ 行政視察受入れ

10月21日に埼玉県飯能市議会経済建設委員会の皆さまが来庁され、「道の駅あがの」について研修を行いました。

本市建設課担当者から説明を受けた後、「道の駅あがの」を見学されました。



10月21日 埼玉県飯能市議会

11月8日に福島県喜多方市議会会派「社民クラブ」の皆さまが来庁され、「有機農業の取組」について研修を行いました。

本市農林課担当者から説明を受けました。



11月8日 福島県喜多方市議会

○一般質問は1人60分の持ち時間の中で、質問と答弁のやり取りが繰り返されます。議会だよりに掲載している内容は質問議員がまとめたもので、要旨を掲載しています。

○議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、市ホームページの市議会の映像配信のページでその議員の定例会での一般質問のやり取りが視聴できます。

○一般質問の詳細については、会議録または市ホームページでご覧いただけます。12月定例会分は3月上旬に公開予定です。会議録は、市立図書館、各支所、市役所ロビーに用意してあります。



ここから 8月臨時会・9月定例会

令和5年度決算審査

一般会計ほか7会計決算を認定

令和5年度一般会計ほか7会計の歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成される決算審査特別委員会に付託され、3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも認定されました。

令和5年度各会計の決算状況

(千円未満切り捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額
一般会計	247億4,187万円	234億8,202万円
国民健康保険特別会計	41億7,170万円	41億4,057万円
後期高齢者医療特別会計	9億1,908万円	9億897万円
介護保険特別会計	54億7,496万円	52億5,132万円
押切外四ヶ大字財産区特別会計	685万円	442万円

水道事業会計	収益的収入	12億9,402万円	収益的支出	11億3,812万円
	資本的収入	3億7,112万円	資本的支出	10億1,765万円
下水道事業会計	収益的収入	18億1,401万円	収益的支出	17億4,220万円
	資本的収入	11億9,594万円	資本的支出	16億1,549万円
病院事業会計	収益的収入	4億1,272万円	収益的支出	7億5,071万円
	資本的収入	6億6,628万円	資本的支出	7億6,148万円

8月5日に臨時会が開かれました

9月定例会が
9月3日～20日の
会期で開かれました

3日 本会議

- 一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目（4人が質問）



4日 本会議

- 一般質問2日目（5人が質問）



9～11日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案等を審査



13～18日 決算審査特別委員会

- 令和5年度各会計決算を審査



20日 本会議

- 決算審査特別委員会、各常任委員会の審査報告の後、討論を経て採決
- ※ 議決結果は11ページ

議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。
8月臨時会・9月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

8月臨時会

工事請負契約の締結について

笹神体育館に太陽光発電設備や蓄電池、LED照明、高効率空調設備を整備し、平時のCO₂削減と非常災害時の避難所機能の向上を図るため、契約を締結するものです。

9月定例会

一般会計補正予算(第2号)

- 交通安全対策事業費 54万円
自転車用ヘルメット購入補助事業の実施に伴い計上。
- 放課後児童クラブ運営事業費 270万円
コスモス児童クラブの照明設備改修(LED化)や水道設備老朽化のため工事費用を増額計上。
- 空き家対策事業費 200万円
管理不全空き家において天候や劣化等の状況により今後緊急安全措置が見込まれることなどから委託料を増額計上。
- 瓢湖水きん公園維持管理事業費 290万円
転落防止柵の設置や瓢湖観察舎の雨漏り修繕工事に必要な費用を増額計上。
- 水原野球場維持管理事業費 600万円
スコアボード大時計の取り換えやメインスタンドの再塗装費用を計上。



阿賀野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、4・5歳児や3歳児の保育士配置基準について、所要の改正を行うものです。

阿賀野市露店市場条例の一部改正について

露店市場の基準について、露店の構造が組立式に限定されていたところ、キッチンカー等であっても状況に応じて出店できるようにするため、所要の改正を行うものです。

8月臨時会、9月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

8月5日臨時会

議案名	審査した委員会※	議決結果
その他 工事請負契約の締結について (阿賀野市笹神体育館再生可能エネルギー設備等導入工事)	省略	可決

9月定例会

議案名	審査した委員会※	議決結果	議案名	審査した委員会※	議決結果	
令和5年度決算 阿賀野市一般会計決算の認定について 阿賀野市国民健康保険特別会計決算の認定について 阿賀野市後期高齢者医療特別会計決算の認定について 阿賀野市介護保険特別会計決算の認定について 阿賀野市押切外四ヶ大字財産区特別会計決算の認定について 阿賀野市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について* 阿賀野市下水道事業会計決算の認定について 阿賀野市病院事業会計決算の認定について	決算	認定 *可決 ・認定	条例 阿賀野市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	社厚	可決	
			阿賀野市国民健康保険条例の一部改正について	社厚	可決	
			阿賀野市露店市場条例の一部改正について	産建	可決	
			その他 字の変更について	総文	可決	
			請願 「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	総文	採択	
令和6年度補正予算 阿賀野市一般会計補正予算(第2号) 阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 阿賀野市介護保険特別会計補正予算(第1号) 阿賀野市一般会計補正予算(第3号)	総文 社厚 社厚 省略	可決 可決 可決 可決	請願 新潟水保病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書提出に関する請願	社厚	採択	
			阿賀野市議会委員会条例の一部改正について	—	可決	
			阿賀野市議会会議規則の一部改正について	—	可決	
			私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について	総文	可決	
条例 阿賀野市一般旅券印紙等購買基金条例の一部改正について 阿賀野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 阿賀野市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について 阿賀野市老人医療費助成に関する条例の一部改正について	社厚 社厚 社厚	可決 可決 可決	新潟水保病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書の提出について	社厚	可決	
			<small>※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 決算：決算審査特別委員会 ◆各委員会における審査結果は、市ホームページで見ることができます。</small>			
			<small>—：委員会に付託しないもの 社厚：社会厚生常任委員会 産建：産業建設常任委員会</small>			

意見が分かれた議案等

9月定例会

○：賛成 ×：反対 議長(市川英敏)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	新風あがの											会派の所属なし																
			公明党	日本共産党		山口		風間		天野美三男		大滝		百都		遠藤		荒澤		遠藤		近山		清野						
			村上	宮脇	岡部	松崎	山口	風間	天野美三男	大滝	百都	遠藤	荒澤	遠藤	近山	清野	清彦	雅夫	直史	良繼	功位	輝榮	三男	勝	順也	孝	浩和	智子	修	栄一
介護保険制度における訪問介護の基本報酬減額を早急に見直すことを国に求める意見書の提出について	社厚	否決	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○														
討議(要旨)	反対意見	訪問介護等、高い志を持って高齢福祉に携わっている方々に心から敬意を表すが、阿賀野市議会として国に意見書を提出するのであれば、委員会で「調査」と「検証」を実施して、より具体的に意見を取りまとめてから意見書を提出すべき。																												
	賛成意見	訪問介護事業所は4割が3年連続赤字で、加算措置があったとしてもカバーできない。6月の衆議院厚生労働委員会で政権与党も含めて見直しを求める決議が上がっている。この意見書を否決することは引き下げが結構だと表明することにほかならず、採択を強く求める。																												

常任委員会の活動

令和6年10月までは、市の仕事を3つに分け、関係する議案等の審査や調査を行いました。

総務文教 常任委員会

総務部所管(市政全般の企画・調整、財務、市税、防災等)や教育、消防等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和6年7月24日に所管事務調査を行いました

閉校した学校の利活用について

廃校施設の現状

平成21年度に寺社小学校と大和小学校、平成26年度に前山小学校、平成29年度に山手小学校と赤坂小学校、そして令和5年度に分田小学校と安田幼稚園、出湯保育園が閉校・閉園となり、令和6年3月31日の時点で、小学校が6校、幼稚園・保育園が2園、計8つの施設が閉校・閉園状態となっています。

現在の利用状況

寺社小学校と大和小学校の校舎は、旧耐震基準による建築物であるため安全性の担保が取れておらず、常時人が入居する状態での貸し付け等は現在控えています。そのため、利用できる施設は、一般企業への貸し付けを行っている赤坂小学校と、定期利用団体が使用している大和小学校、前山小学校体育館、山手小学校、分田小学校体育館を除くと、寺社小学校体育館、前山小学校校舎、分田小学校校舎、安田幼稚園、出湯保育園の5施設となっています。

現在進行中のアクション

文部科学省のホームページで廃校施設を紹介している「みんなの廃校プロジェクト」への掲載や、市独自で実施している公募型の提案募集・対話型の市場調査を行っています。

課題

施設の老朽化や体育館の避難所・定期利用団体利用により提案者の意向に沿った貸し出しができないことや、交通網が乏しく立地条件が悪いこと、比較的新しい施設の貸出料が割高となっていることなどの課題があります。

廃校となつている施設については、地域住民の思い出が詰まった施設であるため、地域の意向を第一に確認し、有益となる利活用の検討を進めていきます。

【意見集約】

廃校施設については、地域交流の場所や避難場所、スポーツ少年団・番楽の活動の場などに使用できるよう検討が必要と考えられます。

- ① 全国の活用事例についても、雇用の創出が図られる事業
- ② 産業振興が図られる事業
- ③ 福祉の推進が図られる事業
- ④ 人材の育成が図られる事業
- ⑤ 地域のコミュニティ・交流が図られる事業

⑥ その他、地域の振興に資する事業

など多様な活用事例があり、有効な活用方法が見出せれば、地域の振興やコミュニティの活性化、地域経済の発展などにつながると考えられます。



旧赤坂小学校内を視察する委員

しかしながら、今後の課題として、廃校施設が将来的な財政負担となる可能性もあるため、無償譲渡や補助金の交付を併せた譲渡などの条件を提示し、期限を決めて活用先を募り、応募がなければ解体費用と将来の維持管理費用を考慮した上で解体の検討を進めることも必要と考えられます。

遊休市有財産を有効活用し、民間活力の導入による一体的整備や民間への貸与、売却が図られることにより、市の財源確保と市民サービスの向上が期待されるため、今後の廃校施設の利活用については、地域の振興や活性化に寄与するだけでなく、交流人口・関係人口の拡大や地域経済への波及効果を生み出すような活用となることを期待します。

社会厚生 常任委員会

令和6年7月25日に所管事務調査を行いました

阿賀野市歴史民俗資料館の現況と今後の在り方について

展示状況について

歴史民俗資料館は、閉校となっていた旧山手小学校に市内各地区の旧資料館・博物館等の資料を集めて令和3年4月に開館し、令和6年度で4年目となります。

1階には、市ゆかりの人物紹介をはじめ、市内各遺跡からの出土品など発掘調査の成果を公開している地質・考古展示のほか、豊富な資料をテーマごとに「焼物」「学校」「くらし」「農業」の4室からなる展示や産業展示として「瓦」の展示など、全6空間の展示を公開しています。昔の暮らしを懐かしむ展示では、阿賀野市の古くからの暮らしを表現し、小学3年生等の総合学習にも対応した展示をしています。

2階・3階は、民具をはじめ豊富な資料を「収蔵展示」として各種分類ごとに整理を行い、学校の総合学習や収蔵庫展等の企画展に活用しています。

開館案内について

開館は、4月から11月までの土曜・日曜・祝日、午前9時30分から午後4時30分までです。5人以上で1週間前までに予約をすれば、平日でも観覧可能です。

民生部所管（福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等）に関する調査や議案・請願等を審査します。

企画展について

毎年度、企画展を実施しているほか、吉田東伍記念博物館等と連携を取り、市の歴史講座を実施しています。

入館者の推移について

令和4年度の企画展が新潟県と下越の5市町村合同で開催し好評だったため、入館者数が増えましたが、令和5年度は夏場の猛暑が影響し、入館者数が減少になったと考えています。施設が旧小学校を利用しているためエアコン等の設備がなく、そのような状況の下で開館していることも影響していると考えています。

来館者の割合について、開館当初は市内からが6割ほどでしたが、現在は市内からと市外からがおおむね半々の状況です。

今後について

来館者のアンケート調査では「予想以上に展示物が多くて楽しめた」「さまざまな展示があり興味深い。見応えがあった」等、非常に好意的な意見をいただいております。「また来たい」と言ってもらえる施設にもなっています。

旧小学校を利用しているの、施設の整備や体制の充実を図るための検討をしながら、今後の資料館の方針等を定めています。

きたいと考えています。

質疑・委員会意見

説明を受けた後、委員からは入場者数や展示内容、企画展、看板の設置等について質問がありました。

これらを踏まえ、資料館の展示・企画等については、リニューアルしてさまざまな工夫がされており、見やすく大変良くなっている。エアコンがないことで施設面の問題はあるが、まずは資料館を知ってもらうことが大切。来てもらえれば、良さは分かってもらえると思う。看板の設置方法や実体験ができるような展示内容を取り入れることについて、今後検討してほしいと意見集約されました。



資料館内で説明を受ける委員

産業建設 常任委員会

令和6年7月4日に所管事務調査を行いました

瓢湖水きん公園の整備状況について

瓢湖水きん公園の現況

- 1 駐車場
市営駐車場ほか3か所、371台
- 2 公衆トイレ
市営駐車場トイレほか3か所、男性用9基、女性用5基、障がい者用3基（うち、2基女性用と兼用）
- 3 白鳥公園遊具
複合遊具ほか12基（東屋、築山を含む）
- 4 野外ステージ
平成4年度建設。電源や放送機材を完備しており、イベントなどで使用しています。現在は、健康づくりのための「朝のラジオ体操」の場として利用されています。
- 5 白鳥の里
平成4年度建設。令和元年度まで白鳥資料館として、白鳥の渡来期間（10月から3月まで）に開館していました。令和2年度から休館となっており、今後の施設の在り方を協議しています。
- 6 コミュニティセンター瓢湖憩の家

昭和52年建設。建築から40年経過し、劣化が進んでいたことから、平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用し、改修工事を行いました。平成30年度からは、公園管理事務所の執務室として一部使用しています。

今後の瓢湖水きん公園の整備計画について

公園長寿命化計画中の瓢湖水きん公園整備計画として、平成26年度から令和5年度まで実施したことで一区切りとなりますが、阿賀野市の重要な観光地「瓢湖」であるため、その後も必要となる施設整備を実施しています。今後、新たな公園整備計画を策定する必要があると考えています。

意見集約

平成26年度から10年をかけて公園整備計画に基づき環境整備を実施してきましたが、今回の所管事務調査実施により、瓢湖水きん公園が抱える諸課題が判明したところです。

各委員からの質疑・意見等も

産業建設部所管（道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等）に関する調査や議案・請願等を審査します。

踏まえ、今後、新たな公園整備計画を策定して、予算確保も含め、優先順位を考慮しつつ、必要であれば民間からの寄付を募るなど、課題解決に向けて、改善できることから実施すべきであります。

今後も白鳥の飛来地として、魅力ある自然豊かな観光地「瓢湖」を守り、つなぐ、日々地道な取り組みを継続していくことが大事と考えられます。



瓢湖を視察する委員

産業建設常任委員会 視察研修

令和6年7月11日・12日に視察研修を行いました

長野県須坂市

- ・新規就農者支援事業について
- ・「須坂フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と賑わい創出事業について

新規就農者支援事業について

須坂市では、果実栽培が農家数の69%、農業産出額の88%を占め、近年のシャインマスカットやナガノパープルなどが高騰し、農業産出額は右肩上がりとなっています。

新規就農者の支援では、市とJA合同就農相談会の実施や市単独での体験会、1泊1,000円で宿泊可能な施設を提供を行っています。県が行っている里親研修では、就農相談や体験、研修先の検討を経て原則2年間の研修につなげ、その間に農地・機械の準備等や市補助金の交付、独立後の支援として新規就農者の会が組織されています。平成21年度から令和5年度までの間で34組の新規就農者が誕生し、離農者はいないそうです。

須坂市は儲かる農業を目指しています。千曲川沿いの恵まれた土壌・気象条件、誇れる果樹生産力、最先端の研究環境、後継者づくりなど、長年にわたり関係者の日々たゆまぬ努力で今の須坂市(フルーツ王国)を築いていると感じました。

「須坂フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と賑わい創出事業について

須坂市は昼夜の寒暖差が大きく、降水量が少ない、同じような気候のハリウッドにちなんで須高地区(須坂市・小布施町・高山村)を「フルーツハリウッド」と称し宣伝しています。平成28年から国の地方創生加速化交付金事業を活用して信州須坂フルーツエール(発泡酒)推進協議会を設立し、市公共施設を改修して須坂フルーツ発泡酒を醸造しました。現在では、県内外取扱店舗数が130店舗、ふるさと納税の返礼品や首都圏の飲食店オーナー、小売店バイヤーを対象に販路拡大を図り、製造量は年々右肩上がりとなっています。

国の交付金事業を有効に活用しながら「信州須坂フルーツエール」の開発・販売により一層の果実振興を図り、新規就農者・農業後継者の増加や市内飲食店などの販売収益増加を目指しています。

今後の課題としては、取扱店200店舗を目指しSNSで積極的にPRしていきたいと担当者の意気込みを感じました。

長野県上田市

- ・空き家セカンドユース事業について

空き家セカンドユース事業について

上田市は人口151,899人の都市で、総務省による平成30年住宅・土地統計調査では、13,060戸(空き家率17.1%)の空き家のうち、半分が長期不在または取壊し予定の住宅です。上田市では、主に①老朽危険空家解体・利活用事業補助金、②空き家情報バンク事業、③空き家セカンドユース事業の3つの事業を構築しました。令和2年に9団体と空き家等対策に関する協定を締結し、さらに上田市空家等対策協議会を設立しました。空き家を不動産業者が購入・リフォームした後、移住者等に賃貸物件として原則5年間提供することで、賃貸を目的とした物件が少なく、賃貸を目的とした空き家を探している人が多いというギャップについて、官民連携により解決する仕組みを全国初で実施しています。

「空き家対策」は全国自治体の重要課題であります。解消に向けて自治会と情報の共有を図り、日々の地道な取り組みが必要です。今後は自治体の財政力・首長のやる気により地域間格差の一層進展が懸念されると感じました。

総務文教常任委員会 視察研修

令和6年7月2日・3日に視察研修を行いました

茨城県境町

- ・自動運転バスについて

境町では、人口減少や高齢化が進み、町が衰退していました。鉄道がないため高齢者の免許返納も進まず、二次交通が必要だと考えていたところ、町長がネット記事で自動運転バスの試運転の記事を見つけたことがきっかけで、自動運転バスの導入・運行が開始されました。また、経費については、ふるさと納税や国からの補助金で賄っています。

自動運転バスは時速20kmで走行していますが、苦情等はなく、走行ルートの路上駐車も減少しており、ルートの新設・延伸の要望が来ているとのことでした。また、高齢者の免許返納率も上昇しているとのことでした。

意見集約

本市の公共交通の在り方・方向性として何が望ましいのか、長期的な視野で考える必要がある中で、自動運転バスの導入に成功した境町の視察は、これからの阿賀野市の公共交通を考える上で大きな衝撃を受けました。

特に印象的だったのは、予算確保の手段で、ふるさと納税や国からの補助金、民間に貸与した施設の家賃収入などを活用し、町の財政状況を改善させた上で自動運転バスを導入しています。

国の補助金を最大限に活用するため、町の自主財源をほとんど必要としないことから、必要なのは町をどうしていきたいかというビジョンであるという点が、非常に印象的でした。

栃木県日光市

- ・日光市ブランディング「NEWDAY,NEWLIGHT,日光」について

人口減少社会においても地域が賑わう豊かなまちを目指すため、地域の価値を高めて選ばれた日光市を目指していくことが必要という考えに至り、外部のアドバイザーも活用しながら日光市のブランディングプロジェクトがスタートしました。

具体的なプロジェクトとして、市内の小中学生からおすすめスポット等を募集し、YouTubeで発信したり、チョコレートを活用した取り組みをInstagramで発信したりするなど、SNSやテレビなどを活用した情報発信を展開しています。

意見集約

日光市では人口が急激に減少する状況で、今後は観光、移住、地域経済それぞれを促進・活性化させるには地域間競争は避けて通れないことを意識し、まちのブランディングに力を入れてきました。

本市も、外部のアドバイザーを活用しながら、市の状況を分析し、地域間競争に負けないような戦略を練る必要性を感じました。「阿賀野市」に魅力を感じてもらうためのビジョンが、観光だけでなく移住やふるさと納税の促進につながることを日光市から学びました。

一般質問

5歳児健診の導入について
国は、5歳児の健康診査に必要な費用助成と技術的支援を行い、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制整備を目指すとのこと。導入について見解を伺う。

国は、5歳児健診の目的について、「発達障害等の子どもたちの発達の特性を早期に把握し、育児の困難さや子育て相談のニーズを踏まえながら、子どもと家族に必要な支援に繋げる」と、実施においては「地域全体に必要な支援のフォローアップ体制の整備」が必要である



無会派 遠藤 智子



子どもの貧困対策について
本市では、令和2年度から今年度まで「子どもの貧困対策」の総合的な推進を図っている。そこで、本市の「子どもの貧困率」と、平成29年の調査結果概要では「学習塾や習い事、家族旅行」などの体験に格差があるが、改善に向けての



無会派 清野 栄一



公共施設内の駐車場の改修
市管理の複数の施設において駐車場の改修の必要性を感じているが、今後の改修方針について伺う。

老朽化が進むと利用者の安全性や利便性、景観に影響が考えられる。瓢湖第一駐車場は、白鳥が渡来する10月初旬までに

関係部局との連携や体制整備が必要となるので、他市町村を参考に検討していく。



食料の安定供給と農業経営について
国は、食料供給の不安定化による国民への影響を防止するため、「食料供給困難事態対策法」など関連3法案を6月に立法したが、本市の「農業経営に関する意向」調査結果によれば、5年前に比べ高齢化や肥料

うな施策展開をしたのか伺う。貧困率は改善する見込み。学習支援は放課後スクー

市政運営について
岩手県花巻市で議会が開催されていない月は、市長が3支所に半日ずつ行き、地域の方と会い、話を聞いて課題を政策に反映させることもあるとのこと。市民の声を聞く一環として、市長の見解を伺う。

現在、市民の皆さまが集うさまざまな行事にできるだけ出席しており、「市民対話集会」も活用していきたいと考えている。市民の皆さまからの意見を大切に、マトリックス的な取り組みで市政を進めたいと考えていて、さまざまな立場の方々の話を聞くことが肝要と思っている。

簡易的な白線対応を行い、利用者の安全確保、利便性の向上を図る。

新規就農者の生活安定のため、5年程度、市による乗せの経済的支援を行ってほしい。対応を考える。

本市では情報発信し、新規就農者の確保や地域おこし協力隊による担い手育成に努めている。また、法人化する農業者には設備投資支援を行っている。





日本共産党 宮脇 雅夫

オンデマンドバスは住民の理解と願いに沿って運行を

質問 市は、今年10月1日から市営バス5路線をオンデマンドバスに移行し、来年10月から分田線と五頭温泉郷線は現在の運行形態を維持するが、他の4路線もオンデマンドバスに移行して市内全域を運行区域とするとしている。運行の形態として、①定時でなく、指定した時間に利用できる。利用時間は午前7時から午後6時まで。利用する時は、スマートフォン、電話で7日前から1時間前までに予約する。平日のみの運行②決められた路線はなく、好きなバス停

で乗り降りできる。利用者は事前登録が必要③利用料金は今までと同じ④乗降できるバス停の場所は基本的には変更なしとしている。

①現在の市営バスの利用者数・収支状況とオンデマンドバスの年間利用数、収支見込みはどうか。

②定時定点の市営バス運行の大きな転換であり、成功させるには住民の理解と共感が不可欠である。住民への周知・説明会の今後の計画はどうか。

③高齢者にも分かりやすい日本語のキャッチフレーズをつくらどうか。

④土曜・日曜・祝日の運行も検討が必要でないか。

回答 令和5年度の利用者は8万1,170人、運賃収入が約365万円、運行経費が約9,502万円(収支率3・8%)で、年々利用者数が減ってきて

いる。オンデマンドバスを来年10月から市全域に拡充し、市営バス全体で8万5,700人の利用者を見込んでいる。地区ごとの説明会を開催してきたが、今後も各自治会やグループ等の説明会・相談会を実施し、分かりやすくするために努力していく。土曜・日曜・祝日運行は、運転手不足や高齢化でできない状況である。

◆その他の質問◆ 基金について



回答 需給は逼迫した状況ではないと国は見ている。

多面的・中山間交付金の削減を問う

質問 多面的交付金制度の資源向上支払が、県の財政難を理由に10%削減された。単に「財政難」という理由で国が示している交付単価を削減することは疑問だ。

回答 県財政は大変厳しいので理解いただきたい。

質問 多面的交付金対象から除外された田が出たのは、5年間水張りをしない田は水田活用交付金の対象にしないという国の方針に基づくものか。来年6期目に入る中山間地直払の対象も同様に外されるのか。

回答 そのようになる見込みだ。それでは耕作放棄が一層広がる。多面的交付金制度で、市では取り組んでいない畑も対象にすれば一定の交付金を受け

られる。

回答 広域協定の中でそういう声が多くなれば可能だと思う。



日本共産党 岡部 直史

あがの市民病院の機能強化と 早急に救急告示病院に復活を

質問 サルの捕獲計画が近隣自治体より1桁少ない。引き上げを。

回答 個体数を減らす対策が重要。体制整備などの課題を検討する。

質問 自治会向けの電気柵等への補助制度が利用されていない。個人が設置する電気柵も含めた補助制度の拡充を。

回答 支援を検討していく。

質問 市民の命と健康を守るための市民病院の機能強化と救急告示の復活について伺う。

回答 病院経営が厳しくなっている現状だが、市民の命と健康を守る市民病院の役割としては、現在の診療科を縮小することなく外来診療を継続していくこと。また、軽症・中等症患者の受け入れを行う救急告示病院を目指している。

質問 覚知から病院収容までの所要時間は、平均で県平均時間より11分遅く、県内3番目に時間がかかっている。改善の見通しを伺う。

回答 ドクターヘリの導入もあり、遠隔地に向けての救急搬送はうまくできていると思う。時間がかかっている内容は、精査した上で判断しなければならぬと思う。

質問 医師の確保について、令和2年度時点における人口10万人当たりの医師数は県内20市の中で17番目に医師が少ない地域だ。医師確保について伺う。

回答 新潟大学医学部との関係構築を通じ、医師の増員を図っている。

質問 救急車の現場到着から現場出発までの平均時間を伺う。

回答 令和元年は17・8分、令和5年は25分となっている。

質問 5年間で7・2分遅くなっている。また、救急患者の搬送先は、令和5年度であがの市民病院が516人(30・5%)、新発田病院が525人(31%)、



新風あがの 百部 順也

行政組織の見直しについて

質問 複雑化する社会課題により、業務の高度化と組織横断的な取り組みの必要性が高まっている。これに対応しながら市民サービスの向上・自立した組織体としての能力強化を図るには、阿賀野市を取り巻く環境に合わせた行政組織の在り方について見直し・検討が必要である。子育て、デジタル化推進など、重点的施策に対応した部署の新設について、市長の考えは。

回答 重点的施策を効果的かつ強力に推進する方策として、指摘のとおり部署の新設は必須で

あると考える。特にデジタル分野や子どもに関わる施策推進には、部署の新設、組織改編をもって施策の方向性を前面に打ち出せるよう検討していく。

質問 来庁者が必要な手続きを1か所で済ませられるワンストップ窓口の設置について、現状と今後の方針は。

回答 現状は、市民の方が必要な手続きを行うために、各課の窓口を移動していただいている。今後は、庁舎のレイアウト、システム改修や導入、業務フローや職員体制の見直しなどといった課題を整理するとともに、基幹系業務システムの標準化と並行しながら取り組みを進めていく。

質問 複雑・高度化する施策展開において、外部人材や業務委託は、人材とノウハウの確保、市民サービス向上の面から今後さらに重要となり、積極的な活用を検討すべきと考えるが、市長の考えは。

回答 現在、「阿賀野市人材育成確保基本方針」の改定に着手しており、庁内ヒアリングを通して人材の確保や育成の現状を把握したところである。今後は市長をサポートする要職の採用も含め、多面的に外部人材や業務委託の活用を検討し、民間の力を市政に活かしていきたい。



しを伺う。

回答 下越病院が109人(7・5%)となっている。市民感覚から見ると、安心できる状況になるような方策を伺う。

回答 引き続き医師招へいの取り組みを重ね、県厚生連との救急告示に向けた協議を継続していく。

質問 県厚生連と市の協議は、毎月行っているのか。

回答 毎月ではないが、定期的に行っている。また、市内の医師との情報共有を図る場の設定も予定している。

質問 米不足が深刻なのに農林水産省は新しい年度の米需要見通しを今年の実績から29万トン減の673万トンとし、コメ生産抑制策をさらに続ける姿勢だ。24年産米の作柄が悪くなれば供給量がさらに不足し、SB5米の輸入枠を10万トンから20万トンに引き上げることもなにかねない。コメの減産から増産政策に転換するよう国に求めるべきだ。



倒伏したコシヒカリ

質問 令和5年度任用職員の4月にさかのぼっての給与改定を今年度は実施すべきだ。

回答 県に準じて判断する。

会計年度任用職員の待遇改善を

質問 令和5年度任用職員の4月にさかのぼっての給与改定を今年度は実施すべきだ。

回答 県に準じて判断する。





新風あがの
山口 功位

今後の市政運営について

質問 加藤ひろゆきの「約束」として6項目にわたり掲げているが、これらの約束をどのように具現化していくのか伺う。

答弁 4月の市長選挙において「加藤ひろゆきの「約束」と題して、子育て支援をはじめ、安心安全、観光、福祉、農業、文化といった各分野の「約束」をマニフェストに掲げた。これらの「約束」の具現化については、次期総合計画である第3次阿賀野市総合計画の中にこれを落とし込み、政策の体系を整理し、目指す姿に向けて具体的な事業を構築していきたいと考えている。



新風あがの
遠藤 孝

阿賀野市営バス運行概要について

質問 A1オンデマンドバス運行の目的について伺う。

答弁 市民の皆さまの利便性向上のため。また、バスの台数を減らして効率的な運行を実施することで運転手不足にも対応し、持続可能な公共交通を維持確保するため。

質問 A1オンデマンドバス運行の利点と課題について伺う。

答弁 利点は、乗りたい時間に乗りたいバス停から乗継ぎなしで降りたいバス停まで行けること。課題は、事前予約が必要になることであり、利用者の皆

質問 「約束」の中にある観光について、全国有数のラジウム温泉である五頭温泉郷のすばらしさをもっと宣伝して、それにふさわしい温泉地づくり等ができるように地元の方々と話し合いをしてほしいと思っております。考えを伺う。

答弁 温泉は大きな観光資源の一つと考えている。効能の宣伝、関係団体との組織体制の強化ができるように動いているところである。

五頭山麓うららの森について

質問 五頭山麓うららの森については、五頭温泉郷の観光拠点として整備を進めていくべきと思うが、市の考えを伺う。

答弁 五頭の自然を活かした環境整備に努めるとともに、交流拠点施設として一体的な整備を

することによって、交流人口、関係人口の拡大に取り組みしていきたいと考えている。

質問 五頭山麓うららの森は、公園としての位置付けなのか、それとも農業施設(農園)としての位置付けなのか。

答弁 五頭山麓うららの森の位置付けは、市民と来訪者の憩いの場および交流を推進する総合公園施設として設置している。



さまから面倒と思われるように、丁寧な説明、周知を図っていききたい。

質問 市民への説明は。

答弁 8月26日から29日まで、水原、安田、京ヶ瀬、笹神の各地区で説明会を実施した。

質問 説明会場での説明で、来場者から理解を得られたのか。

答弁 A1オンデマンドバスの特性、運行形態、予約の仕方など、概ね理解が得られたと思うが、多くの意見や要望もいただいた。

質問 利用者の皆さんからより一層の理解と周知してもらいたい。現在のバス停に告知説明看板を設置してはどうか。

答弁 現在のバス停の運行時間表の所に設置を考える。

質問 市街地の変化、状況に依り、今後、路線変更、運行日、運行時間等の改正はあるか。

答弁 A1オンデマンドバスに



おいては、移動の自由度から柔軟に対応できる運行形態なので、変更は不要と考えている。定時定路線においても、このまままで利用していただく。

質問 市民から、祝日運行があると助かる、バス停が集落から遠いという意見があるので対応を考えてほしいが、考えを伺う。

答弁 10月から運行を行った結果、見えてくる課題もあると思う。随時検証・分析を行い、必要に応じて対処していく。



新風あがの
風間 輝榮

新型コロナウイルス「K.P.3」について

質問 本市の感染状況はどうなっているのか。

答弁 新潟県が公表する県内の感染状況では、7月29日から8月4日までの週で定点当たりの患者数が13・64人とピークを迎え、その後減少に転じている。新発田保健所管内では、7月22日以降、15人前後の報告があり、本市でも同様と推測している。

質問 今後のワクチン集団接種計画はあ



るのか。費用はどうなるのか。

答弁 10月1日以降は個別医療機関での接種となり、集団接種計画はない。接種費用は、定期接種の対象者で3,500円程度となる見込み。

「放置空き家」について

質問 本市の現状はどうなっているのか。

答弁 令和6年3月末で617件、1年間で30件増加している。そのうち管理不全の空き家は516件、1年間で22件増加している。

質問 空き家があることによる景観・衛生面・不法投棄の問題がある。各自治会との情報の共有・協力・連携強化する考えはあるのか。

答弁 実際に自治会からの相談や要望もそのような内容がほとんどである。自治会要望にでき

る限り速やかに応えられるよう対応している。

環境センターの仕舞工事について

質問 年度末までに2炉全ての仕舞工事完了とあるが、工事費用はどのくらいになるのか。

答弁 設備の改造等を伴う仕舞工事を1,883万2千円、仕舞清掃業務委託を583万円で契約した。特別管理産業廃棄物処理費発生の可能性や低圧受電化工事の予定もあり、最大で約4,000万円を見込んでいる。

質問 最終処分場の今後の計画はどうなるのか。

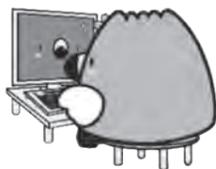
答弁 資材費高騰による新中間処理施設の工事請負額の大幅な増額や構成市町の厳しい財政状況を踏まえ、引き続き整備時期等を検討していく。

議会の情報は市ホームページをご覧ください

阿賀野市議会

検索

本会議会議録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。ぜひご利用ください。



阿賀野市
イメージ
キャラクター
「ごずっちょ」

●中継はこちら

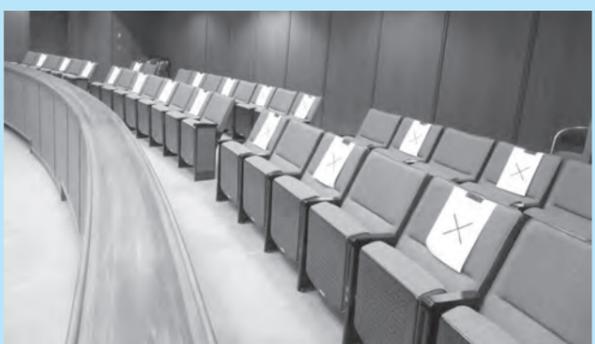
会議名、議員名、用語などから検索できます。視聴したいものを選んでクリック！



議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは必要ありません。傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

- ※現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、傍聴席の席数を減らしています。
- ※体調がすぐれない人は、傍聴をご遠慮ください。
- ※入室の際は、手指消毒にご協力をお願いします。



議員研修会が 開催されました

11月22日に村上市で阿賀北五市(阿賀野市・新発田市・村上市・胎内市・五泉市)の議員研修会が開催され、正副議長、議会運営委員会・総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会の正副委員長が出席しました。

村上市教育委員会生涯学習課文化行政推進室の三須友也副参事を講師に迎え、「国の重要無形民俗文化財『村上祭の屋台行事』』について、講演が行われました。



タブレット講習会の様子

議員活動にタブレット端末を導入しました

市議会では、タブレット端末によるペーパーレス会議システムの導入に向けて平成30年度に検討が始まり、令和3年に「デジタル化推進チーム」を立ち上げました。

県内外の市議会を視察し、さまざまな取り組みを参考に協議を重ねるとともに、複数のシステムのデモンストレーションを行った結果、令和6年12月定例会からタブレット端末を導入することになりました。

令和6年12月議会と令和7年3月議会はタブレット端末と紙媒体を併用し、令和7年6月定例会からはペーパーレス化に移行する予定です。

議員全員がタブレット端末を持つことで、ペーパーレス化だけでなく、情報共有の迅速化など、議員活動の活性化にもつなげられるように取り組んでいきます。



タブレット講習会の様子



本会議でタブレット端末を使用する様子

次回3月定例会の予定

2月17日の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページでお知らせします。

月 日	会 議 名
2月17日(月)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
2月26日(水)	本会議 (施政方針、議案上程、一般質問)
2月27日(木)	本会議(一般質問)
2月28日(金)	本会議(一般質問)
3月 5日(水)	総務文教常任委員会
3月 6日(木)	産業厚生常任委員会
3月10日(月)	予算審査特別委員会
3月11日(火)	
3月12日(水)	
3月14日(金)	本会議(委員長報告、採決)

令和6年度(4～10月分)

政務活動費の収支を報告します

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、条例に基づき会派または議員に対して交付されるものです。

政務活動費は1人当たり月額1万5千円が交付され、残額は市に返還します。

令和6年10月31日の任期満了に伴い退職した3人について、収支報告(4～10月)が提出されましたので報告します。

(単位:円)

氏 名	項 目 収 入	支 出			合 計	残 額 (返還額)
		研修費 (交通費・宿泊費・文書通信費・参加費等)	広報費 (広報紙・報告書等印刷費、文書通信費等)	資料購入費 (書籍購入費、新聞雑誌購読料等)		
山口 功位	105,000	65,340	29,960		95,300	9,700
百都 順也	105,000		29,300	45,300	74,600	30,400
近山 修	105,000			31,319	31,319	73,681
合 計	315,000	65,340	59,260	76,619	201,219	113,781

注)調査研究費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費、人件費、事務所費の支出は、いずれの議員共に0円でした。

発行：阿賀野市議会
編集：広報広聴委員会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：0250-61-2489
FAX：0250-61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

問い合わせは
こちらから



次号は令和7年3月31日発行の予定です。

広報広聴委員会(特別委員会)
委員長 松崎 良
副委員長 清水 博
阿天荒遠清風 清松
部野澤藤野間水 崎
順市浩 栄輝 博 良
三榮和孝一 榮英 繼

委員 松崎 良
委員 松崎 良

議会改革では、小中高生など若い人々と市議会をつなぐ取り組みや、市民との意見交換の場を広げるなどの方向性も出されています。変革する議会の活動をお届けするため、委員一同頑張りたいと思います。ご感想、ご意見をお寄せください。

部会から、独立の広報広聴委員会と衣替えをして、最初の議会日より発行となりました。市議会の常任委員会もこれまでの3つから2つの常任委員会となり、充実した審議が期待されます。

編集後記

